

(請求の趣旨) 【別利率】

## 請求の趣旨

1 被告【□ら】は、原告 \_\_\_\_\_ に対し、【□連帯して】次の金額を支払え。

(1) 金 \_\_\_\_\_ 円

(2) (1)の金額【のうち金 \_\_\_\_\_ 円】に対する〔平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 本訴状送達の日翌日〕から〔支払済み 平成  
\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日〕まで年 \_\_\_\_\_ パーセントの割合  
による金員

(3) (1)の金額【のうち金 \_\_\_\_\_ 円】に対する〔平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 本訴状送達の日翌日〕から〔支払済み 平成  
\_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日〕まで年 \_\_\_\_\_ パーセントの割合  
による金員

(4) (1)の金額【のうち金 \_\_\_\_\_ 円】に対する〔平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日  
令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日〕から支払済みまで年 \_\_\_\_\_ パーセントの割合による  
金員

2 訴訟費用は被告【□ら】の負担とする。

との判決【及び仮執行宣言】を求める。